



若田宇宙飛行士と宇宙を旅し、地球を4,100周して帰還した種から育てられた「宇宙桜」。この「宇宙桜」を希望のシンボルとし、東北の復興を誓う交流の祭典「きぼうの桜サミット」が淡路島で開催されます。今回、東日本大震災・津波被災地域の関係者を招聘し、今後予想される大地震・自然災害に向け、私たちが何をすべきか共に考えます。

# 第2回 きぼうの桜 サミット

「宇宙桜」は日本三大桜を含む名桜・巨桜の直系子孫。千年生きて巨木となる「宇宙桜」を、避難の目印として、東日本大震災・被災地である東北沿岸部の津波到達地点に植樹する事業が「きぼうの桜計画」です。震災の記憶と教訓を31世紀の子孫たちに伝承する壮大な取り組みであり、一般財団法人ワンアースによって推進されています。このサミットは、当事業の一つとして開催されます。



宇宙桜がつなぐ防災と交流の祭典

## 開催報告

日時 **2018年5月20日(日)** 13:00~16:00(開場12:00)

会場 **淡路夢舞台国際会議場 メインホール** **定員300人**

### プログラム 第1部 きぼうの歌の祭典 13:00~

- 開会挨拶
- 歌♪きぼうの桜ミニコンサート(サンシャイン少年少女合唱団)
- 山崎直子宇宙飛行士からのビデオメッセージ

### 第2部 宇宙桜の絆と防災・減災の未来 14:15~

- 特別講演「東日本大震災における洋野町の奇跡」  
～津波による人的被害ゼロはいかにして生まれたか～  
[講師] 岩手県洋野町副町長・日富 博治氏
- パネルディスカッション「災害の教訓伝承を考える」  
岩手県洋野町、宮城県七ヶ浜町、福島県楡葉町、福島県福島市、鳥取県湯梨浜町、兵庫県丹波市、兵庫県淡路市、洲本市、南あわじ市
- 地域紹介「宇宙桜に祈りを込める、桜守たちの思い」  
山梨県北杜市、岡山県真庭市、高知県仁淀川町、高知県佐川町

### 関連展示 12:00~17:00

会場 **メインホール ホワイエ**



東日本大震災の復興各地に宇宙を旅した偉大な桜を植え、震災の記憶と教訓を、千年風化しない方法で子孫に残す。三春滝桜のような大観光資源と末永い広域交流を創出し、22世紀までに世界遺産登録を目指す。

山崎直子宇宙飛行士から、お祝いのビデオメッセージも♪



きぼうの桜事業とは、東日本大震災の津波到達点以上の場所に、数千年生きて超巨大化する遺伝特性を持つ宇宙桜を植樹し、風化しない復興のシンボル及び避難の目印としてこの星の子孫に残す文化事業です。東北のみならず、淡路島や鳥取県湯梨浜町、兵庫県丹波市など、大災害からの復興を誓う各地を対象が広がっています。

主催: 第2回きぼうの桜サミット実行委員会(順不同)  
一般財団法人ワンアース 兵庫県淡路県民局 一般財団法人淡路島くうみ協会  
淡路市 洲本市 南あわじ市 関西看護医療大学 株式会社夢舞台  
後援: 兵庫県企業庁 神戸新聞社 朝日新聞神戸総局 産経新聞社  
毎日新聞神戸支局 読売新聞洲本支局 時事通信社神戸総局

きぼうの桜計画に参加しましょう♪

ワンアース 検索

2018年5月20日  
淡路島夢舞台国際会議場において  
第2回きぼうの桜サミットが開催されました。  
9自治体のトップらが集まる貴重な場で、災害の教訓を水平垂直  
展開して活かすための広域交流の重要性を認識し合いました。



会議場を埋め尽くした300人の聴衆



きぼうの桜計画のテーマソングは、  
今回は地元淡路の大人と子ども  
が協力して演奏してくれました。  
サンシャイン少年少女合唱団と、  
淡路声楽セミナーの皆さんでした。



ワンアース役員集合、左から大野敏光  
顧問、福井昌平顧問、松林真弘淡路  
島キャンパス学長、赤木一朗評議員、  
長谷川洋一代表理事、春木基男顧問



きぼうの桜の意味を全身で語る子どもたち



基調講演は  
洋野町の  
日當博治  
副町長



復興する各地の皆さま  
交流会ではざっくばらんな本音の交流も

各地代表、左から 兵庫県南あわじ市・守本憲弘市長 兵庫県洲本市・竹内通弘市長 兵庫県淡路市・金村守男副市長  
兵庫県丹波市・谷口進一市長 鳥取県湯梨浜町・上井明彦企画課長 福島県福島市・斎藤喜章NPOふくしま飛行協会理事長  
福島県楡葉町・松本幸英町長 宮城県七ヶ浜町・寺澤薫町長 岩手県洋野町・日當博治副町長  
ワンアース・長谷川洋一代表理事 兵庫県・吉村文章淡路県民局長 株式会社夢舞台・藤井英映社長

今回のサミットには、これまでに、きぼうの桜  
を植えた各地の代表が駆けつけてくださり、  
さらに、南海トラフ地震に備える淡路島三市  
の長が参集し、広域交流による地域振興と  
防災協力について熱く議論しました。



貴重な宇宙桜を贈呈して下さる各苗元の皆  
さまと、サミット実行委員会



パネルディスカッション  
と共同宣言

守本憲弘・南あわじ市長から第2回きぼうの桜サミット  
共同宣言を發表していただきました。

- ◇ 私たちは、『宇宙桜』を未来遺産として守り育て、大災害からの復興まちづくりに一丸となって取り組んでまいります。
- ◇ 私たちは、大災害の記憶と教訓を『宇宙桜』に託して千年先まで伝えつつ、来るべき災害への備えを推進してまいります。
- ◇ 私たちは、地球市民として、この星のいのちの美しさを体感しつつ、交流の継を地球規模に広げてまいります。



サミットは毎年持ち回りで開催することになっておりますが、今年もう一回、東日本大震災から復興する福島県の楡葉町が名乗りを上げ、松本幸英町長みずから、8月18日(土)に開催することを宣言しました。

きぼうの桜に参加する地域は毎年増え、サミットの役割もますます大きくなっていくでしょう。  
末筆になりましたが、今回のサミット実現のために助成くださった兵庫県と後援各位、そして実行部隊として細部に至るまでこのイベントを仕上げてくださった実行委員会、特に株式会社夢舞台の皆さまに「熱く」御礼申し上げます。